

NY マーケットレポート (2016 年 10 月 26 日)

NY 市場では、堅調な動きが続いた流れが一服し、ドル円・クロス円は序盤からやや上値の重い動きとなった。しかし、その後に発表された米石油在庫統計で、原油在庫が市場予想に反して減少したことを受けて、原油価格が大幅に上昇となったことや、下落していた株価がプラス圏まで反発する動きとなったことも加わり、円が主要通貨に対して下落となり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ただ、終盤には上値の重い動きが続いた。そして、欧州経済が改善を示したことで、ECB への追加緩和圧力が軽減されるとの観測を背景に、ユーロは主要 16 通貨の大半に対して堅調な動きとなった。

2016年10月26日 (水)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	104.20	104.39	104.04
EUR/JPY	113.74	113.73	113.27
GBP/JPY	126.96	127.18	126.65
AUD/JPY	80.22	80.31	79.44
EUR/USD	1.0917	1.0920	1.0874

LONDON	高値	安値
USD/JPY	104.33	104.04
EUR/JPY	113.89	113.63
GBP/JPY	127.38	126.95
AUD/JPY	80.25	79.98
EUR/USD	1.0933	1.0911

*東京クロース～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	104.52	104.63	104.08
EUR/JPY	113.97	114.19	113.83
GBP/JPY	127.94	127.99	127.29
AUD/JPY	79.91	80.16	79.68
NZD/JPY	74.75	74.89	74.59
EUR/USD	1.0906	1.0947	1.0900
AUD/USD	0.7647	0.7685	0.7637

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	18199.33	+30.06
S&P500	2139.43	-3.73
NASDAQ	5250.27	-33.13
日経225 (CME)	17365	+15
トロント総合	14807.56	-63.07
ボルサ指数	47805.44	-288.09
ボベスバ指数	63825.69	-40.51

10/27 経済指標スケジュール

08:50	【日本】10月対内外証券投資
09:30	【オーストラリア】3Q輸出入物価指数
10:30	【中国】9月工業利益
11:30	【シンガポール】3Q失業率
15:00	【スイス】9月UBS消費指数
15:00	【ノルウェー】8月失業率
16:00	【トルコ】10月経済信頼感
16:00	【スウェーデン】10月消費者信頼感指数
16:30	【スウェーデン】政策金利発表
17:00	【ノルウェー】政策金利発表
17:00	【欧州】9月マネーサプライM3
17:30	【英国】3Q GDP
17:30	【英国】8月サービス業指数
17:30	【香港】9月貿易収支
18:30	【南アフリカ】9月生産者物価指数
19:00	【英国】10月CBI流通取引調査
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
21:30	【米国】9月耐久財受注
23:00	【米国】9月中古住宅販売仮契約
00:00	【米国】10月カンザスシティ連銀製造業活動指数

コモディティー	終値	前日比
NY GOLD	1266.60	-7.00
NY 原油	49.18	-0.78
CMEコーン	354.00	+4.75
CBOT 大豆	1021.00	+18.75

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.870%	0.852%
3年債	1.013%	1.000%
5年債	1.301%	1.276%
7年債	1.581%	1.552%
10年債	1.790%	1.758%
30年債	2.539%	2.501%

ドイツ10年債	0.085%	0.030%
英国 10年債	1.152%	1.089%

10/27 主要会議・講演・その他予定

・米7年債入札

NY 市場レポート

《企業決算》

米ボーイング

第3四半期の1株利益は3.51ドル（予想2.67ドル）

米コカ・コーラ

第3四半期の調整後1株利益は0.49ドル（予想0.48ドル）

21:30

《経済指標の結果》

9月米卸売在庫（前月比） 0.2%（予想 0.1%・前回 -0.2%）



22:00

《経済指標の結果》

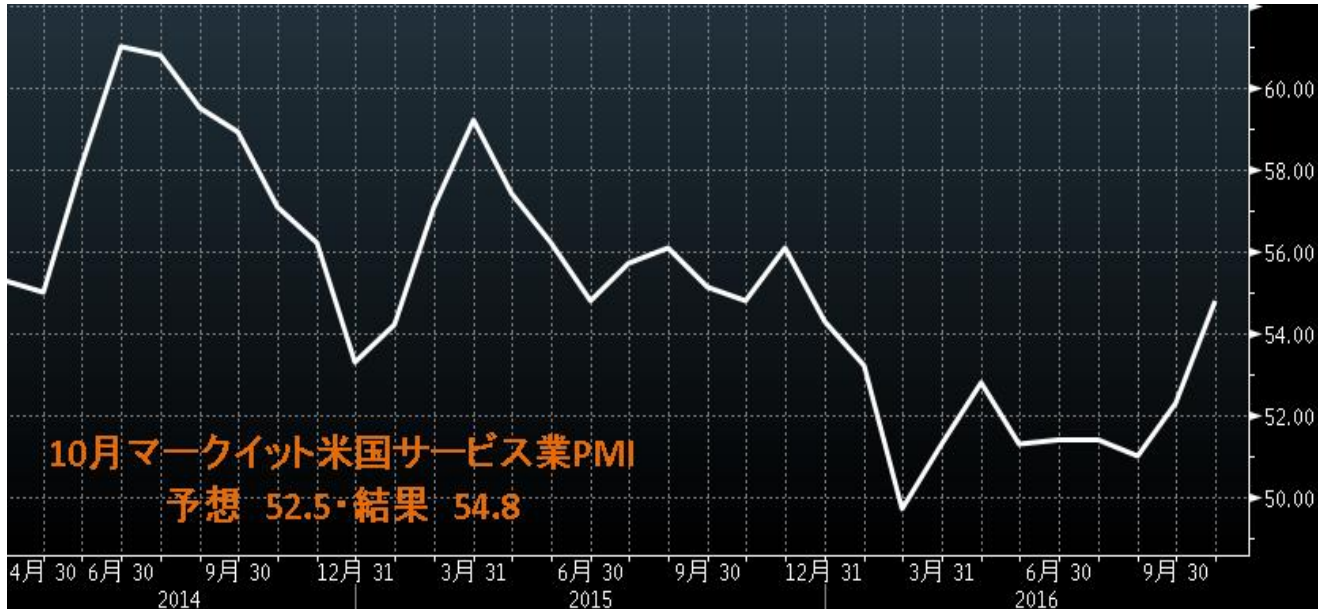
9月メキシコ貿易収支 -16.08億USD（予想 -7.40億USD・前回 -19.13億USD）



22 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

10月マークイット米国サービス業PMI 54.8 (予想 52.5・前回 52.3)



出所 : Bloomberg

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

9月米新築住宅販売件数 59.3万件 (予想 60.0万件・前回 57.5万件)
前回発表の60.9万件から57.5万件に修正

9月米新築住宅販売件数 (前月比) 3.1% (予想 -1.5%・前回 -8.6%)
前回発表の-7.6%から-8.6%に修正



出所 : Bloomberg

《新築住宅販売》

	9月	8月	7月	6月	5月	4月
販売戸数	59.3	57.5	62.9	55.8	56.6	57.0
前月比 (%)	3.1	-8.6	12.7	-1.4	-0.7	6.1
	9月	8月	7月	6月	5月	4月
北東部	3.2	2.4	3.6	2.8	3.2	4.0
中西部	7.6	7.0	8.1	7.5	7.3	6.1
南部	33.8	32.7	36.9	32.1	31.9	32.4
西部	14.7	15.4	14.3	13.4	14.2	14.5

(万件)

《 経済指標のポイント 》

9月の米新築住宅販売件数は、年率換算で前月比+3.1%の59.3万件となり2ヵ月ぶりに増加した。前年同月比では+29.8%だった。

①市場の住宅在庫は、9月末時点で前月比-0.4%の23.5万件、販売に対する在庫比率は4.8ヵ月と前月から0.1ヵ月分減少し、適正水準とされる6.0ヵ月を引き続き下回った。

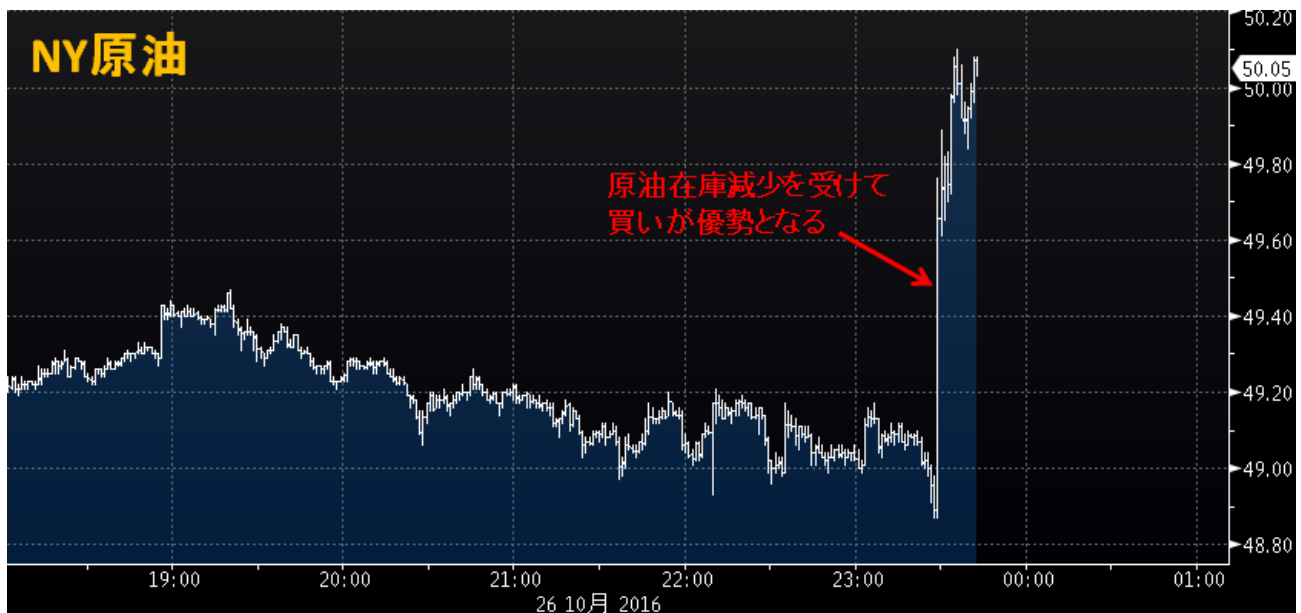
②販売物件の中間価格は、前月比+6.7%の31万3500ドル、前年同月比は-1.9%。平均価格は、前月比+6.0%の37万7700ドル、前年同月比では+2.7%となった。

③地域別では、北東部が+33.3%、南部が+3.4%、中西部が+8.6%、西部は-4.5%となった。

23 : 30

《EIA 米週間在庫統計》

原油在庫・・・55.3万バレル減少、ガソリン在庫・・・196万バレル減少、留出油在庫・・・335万バレル減少、
クッシング原油在庫・・・133.7万バレル減少



2 : 00

《米財務省 5年債入札》

最高落札利回り・・・1.303% (前回 1.129%)
 最低落札利回り・・・1.195% (前回 1.030%)
 最高利回り落札比率・・・6.51% (前回 15.58%)
 応札倍率・・・2.49倍 (前回 2.39倍)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、原油価格の値下がりや、欧州企業の業績先行きへの警戒感が投資家心理を圧迫し売りが優勢となった。ただ、原油価格が反発したことから下げ幅が縮小した。



出所：Bloomberg

《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 7.00 ドル安の 1 オンス=1266.60 ドルで取引を終了した。

NY 金は、米国の年内追加利上げ観測が強まっていることを受けて売りが先行した。しかし、インドでの需要増加を背景に買いが入る場面もあり、下げ幅は限定的となった。



出所：Bloomberg

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、中心限月が前日比 0.78 ドル安の 1 バレル=49.18 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、OPEC が来月の総会で減産合意するのは難しいとの見方から、売りが先行した。ただ、米石油統計で原油在庫が市場の予想に反して減少したことが好感され、プラスに転じる場面もあった。



出所：Bloomberg

《 米株式市場 》

米株式市場は、原油価格の下落や IT 大手の利益見通しが予想を下回ったことが影響し、序盤から売りが優勢となった。ただ、原油在庫減少を受けてエネルギー株が反発となり、プラス圏まで上昇する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤に前日比 106 ドル安まで下落したものの、その後は買いが優勢となり、プラス圏まで上昇して引けた。一方、ナスダックは上値の重い動きが続き、前日比マイナス圏で引けた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、原油の在庫減少を受けて原油価格が大きく上昇となり、株価も上昇する動きとなったことから、投資家のリスク志向の動きが強まり、円売りが優勢となった。ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ただ、終盤にはやや上値の重い動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。